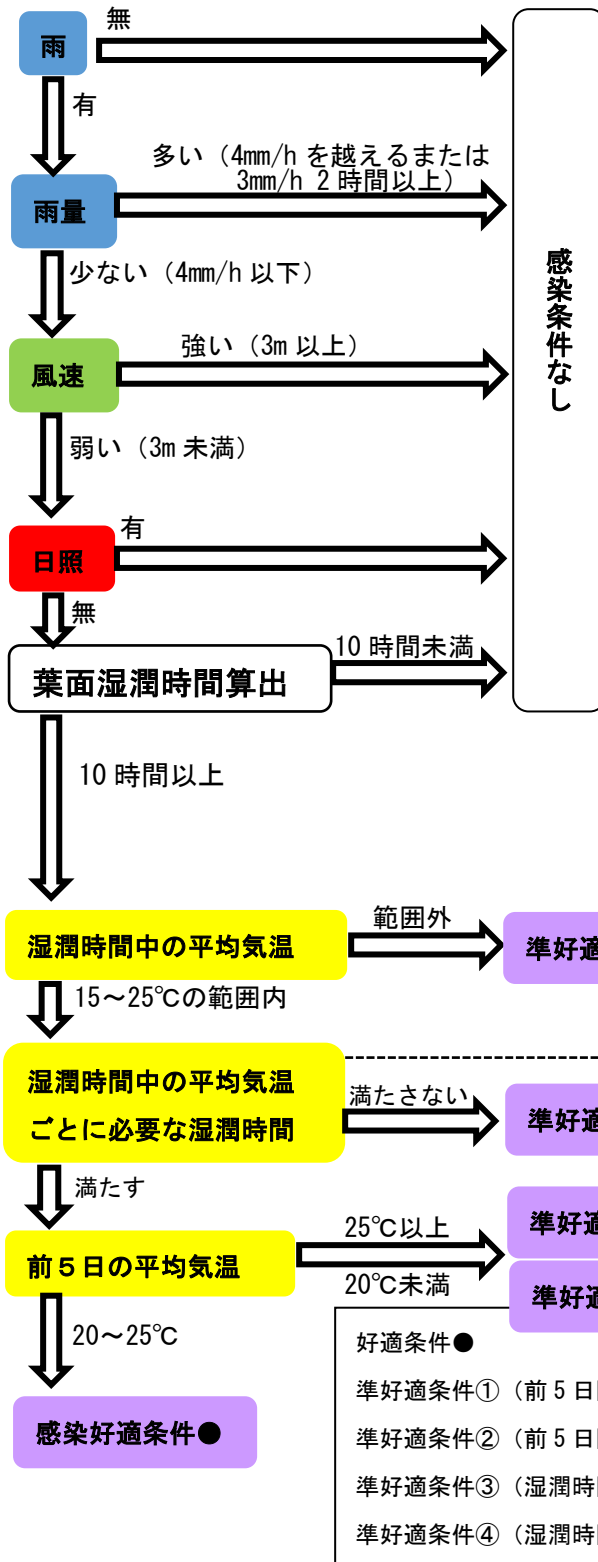


ブラスタムについて



ブラスタムはアメダスデータ（降水量、風速、日照時間、気温）をもとに「いもち病」の感染好適条件を推定するシステムです。

まず雨量（多いと胞子が定着できません）、風速（風が強いと乾燥します）、日照から、葉面湿潤時間を算出します。

湿潤時間 10 時間以上であれば、湿潤時間中の平均気温が感染に好適な 15~25°C の範囲内であるか、また範囲内であっても低い温度では感染により長い時間を必要とします。

最後に、前 5 日間の平均気温が胞子形成に好適な 20~25°C に入っていれば感染好適条件と判定されます。

感染好適条件の 1 週間後が広域的初発生時期、さらに 1 週間後が流行開始時期（進展急激）、または発病増加開始時期（進展緩慢）です。本県の感染好適条件初出現の平年値は 6 月 15 日、好適条件初出現から初発確認までの日数の平年値は 17 日です。流行開始時期に初発確認されることが多いようです。

温度 必要な湿潤時間

温度	必要な湿潤時間
15°C	17 時間
16	15
17	14
18	13
19	12
20-21	11
22-25	10